

こころをつなぐまちづくり

人権シリーズ vol.51



この作品は、人権のまちづくり国見部会の人権作品募集に応募された、国見中学校二年生の佐藤恵さんが一年生の時に書いた作品です。

地球上のすべての人達が…

国見中学校一年 佐藤 恵

私は、いろいろな人権問題で、身近にあるような「いじめ」と、終わらない「戦争」のことについて書きたいと思いました。

いじめは、言葉や暴力、無視をしたりいろいろなあると思います。でもそれは全部、自分が言われたり、されたりしたらとても嫌なことだと思います。いじめが原因で、学校に行くのが楽しくなくなり、不登校になってしまう人、とても辛くて自殺してしまう人、また、いじめた人をいじめるなど、いじめに良いところなんて一つもないと思います。見て見ぬ振りをする人も、半分はいじめに関わっているんじゃないかと思えます。もし、「いじめはいけない」と思っても、言葉に出せない人がいると思います。これはいけないなあと思つたら、だれか頼れる人に相談してみるなどしてほしいです。その一つの行動で、いじめられている人を救えるかもしれないからです。

いじめる人は軽い気持ちでやっているかもしれない。いじめられていても嫌だと思いませんか？そんな意味のないいじめはやめて、みんなが笑顔で楽しい社会になってほしいです。

戦争は、今この時どこかの国であり、その戦争によって、何百人、何千人もの人達のかげがえのない大切な命がなくなっています。

戦争が始まると、今まで普通に勉強していた学校が戦争に関するものを勉強したり、家族や友人が戦争で亡くなってしまうとも、国からほめられるということなどを、平和授業で学びました。それで私は、一人一人が自由に何もかもできなくなる戦争は、人権問題にとっても深くかわると思えました。

今、日本は、六十四年前の戦争を反省して憲法で戦争はしてはいけないという決まりがあります。でも、もしこの憲法がなくなつて、戦争が始まると、今ではとても考えられないような生活になっていくと思えます。今、戦争をしている国や、核兵器などを持つている国は、平和な、だれもが普通に幸せに生きていける世界を目指して、戦争はやめて、核兵器も、もうこれ以上作つてほしくないです。そして世界各国が仲良くなり、地球上から「戦争」という言葉がなくなればいいと思います。

この作文を書いて、今まで以上に人権について考えるようになりました。いじめを見つけたら、差別をしている人がいたら、いじめをとめたり、注意していければいいと思います。戦争については、まず自分は、身近な「けんか」を減らしていきたいです。そのけんかが国同士になったとき、戦争がおきて、人々の自由が奪われてしまうからです。

地球上のすべての人達が差別やいじめ、戦争がなく、笑いあえる時が来ますように…



お知らせ

☆人権ビデオ上映会(隣保館)

平和アニメ

8月5日(木)午前10時半～11時半

人権アニメ

8月19日(木)午後4時～5時

※今月は子どもが対象です。

☆同和問題学習会(隣保館)

テーマ市民意識調査

8月17日(火)午後3時～5時

問い合わせ 国東市隣保館

☎0978-68-1722